

元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年01月15日 第1150号「週刊五十嵐レポート」

自分の強みを理解する

先日、「TOKYO創業ステーション丸の内」にて、これから起業・創業する人たちのための「ランチェスター弱者の戦略(基礎編)」をオンライン講演した。

1月10日付日経新聞、「私見卓見」の「キャリアをマーケティングせよ」が多いに参考になる。

「自分自身のキャリアをマーケティングすることが重要。自分で生き方や働き方を選択できる時代だから。キャリアという観点では、1人1人が「自分」という会社の社長であり、自身のキャリアや人生の方向性を戦略的に決めていく必要がある。

商品を市場で魅力的に見せる方法と同様に、自分自身を市場でどのように 魅力的な存在として位置づけられるか。しかし、多くの人は自分が自分という 会社の社長とは十分に認識していない。年齢を重ねるにつれて自分の価値 観や強み、そして弱みが明確になっていくにもかかわらず、多くの人は自己 認識をマーケティングに生かせていない。

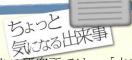
価値観や情熱に気づき、強みをどう生かすか深く考える。自分のキャリアを新たな視点で見直し、自己実現の道を模索し始める。

価値観を理解する。自分が何に対して心を動かされるのか、何に情熱を感じるのかを理解する。その上で、自分の強みを最大限に生かす戦略を立てる。

年齢を重ねるごとに、個性や才能もわかってくる。また、限界もはっきりしてくる(例えば、自分は大谷翔平にはなれない)。これらを市場のニーズや競争相手と比較しながら客観的に分析する。最も適した分野で活躍する。それがキャリアを充実させるためには不可欠。

方向性と戦略が決まれば、プランニング。10年後、20年後になりたい姿を定める。ゴールから逆算し、1年後、1ヶ月後、明日、何をなすべきかを決める。自身の価値観と強みを深く理解し、それらに基づいた戦略を立てる」。

散見するのは、自分の強みや得意な事とやりたい事が乖離している場合。 残念だが痛い目に合う。転ばぬ先の杖。自分の強みを理解し、そこから勝て る戦略を立てる。それに役立つのが「ランチェスター弱者の戦略」。



リクルートワークス研究所では、「未来予測2040」を発表。

2030年に341万人余り、2040年に1100万人余りの労働供給が不足すると。 現在の人手不足はまだはじまりにすぎない。去年よりも今年、今年よりも 来年の方が人材確保が困難な状況となる。企業の採用意欲を加速させ、人 材獲得に一層の競争を生み出す。

労働供給不足では我々の「生活維持サービス」を享受されにくくなるお それがある。注文の配送が届かない。ゴミの処理ができない。災害からの 復旧が進まない。道路の除雪、保育サービス、介護サービスが受けられな い等。

4つの解決策を提示。1つは徹底的な機械化・自動化。2つ目は、ワーキッシュアクト(例えば、スマホのゲームをすることで地域のインフラ点検に貢献している人がいる。マンホールや電柱の位置、状態が網羅・一元化)。3つ目はシニアの小さな活動。4つ目はムダ改革。

ここでは敢えて「外国人労働」は入っていない。現在の企業でできることは、機械化・自動化、ムダの排除。つまり1人当たりの生産性を高めるこ



時の三要素

易経の表す「時」とは、時間だけでなく空間をもいう。

- 時 (時間)
- 処(場、環境、状況)
- •位(立場、社会的地位)

この三位一体の時を表している。

いいかえれば、時は「天」であり、処は「地」であり、位は「人」にあたる。 したがって、物事の対処にあたっては、今という時、環境、立場にあって、 どうするべきかを考えなくてはならない。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- ●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- ●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

(㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5 IEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

